



## あれから1年 熱い夏

夏は暑いと決まってはいるものの、年によって大きな差があります。

今のところ、今年は西日本を中心に少し涼しめというか、カッとした暑さのニュースは少ないようです。

一方、ヨーロッパでは記録更新の暑さが続くなど、地球的にバラツキ模様で、これも地球環境のバランスが崩れてきたことによる異常気象のひとつということでしょうか。

毎年、6月、7月は国の予算編成を前に、国への予算要望や地方関係団体の会議などで東京への出張が多く、汗だくで各省庁や関係機関を回っているのですが、今年は汗も出ず、かえって秋田の方が暑く感じられる日が多かったように感じます。

先日、暑い沖縄から秋田は涼しいだろうと避暑旅行に来たという方にお会いした時に、そのご夫婦は「高い金かけて来たけど沖縄の方が涼しいや」と言って笑ってました。

こちらは秋田のイメージを損ねては大変と、「昼は暑いけれど夜は涼しくなりますよ、特に最近では日本酒も冷やで飲むのが一般的になり、少し暑めの中で飲む秋田の酒は最高で、最近では秋田の夏も酒に合わせてくれているようです。」と屁理屈を言ったら、そのご夫婦曰く「沖縄の泡盛は暑さ寒さに関係なく美味しいですよ。」当方ギャフンという結末でした。

さて、昨年のもみぢ風もあり、今年の夏の高校野球は一層熱く盛り上がりました。

新聞、テレビの扱いも何となく大きくなった感じがし、特に各高校のOBの皆さんの母校に対する思いのボルテージは上がりっぱなしではなかったと思います。

かくいう私も、母校角館高校の行方が例年になく気になり、一方で金足農業も今年はどうなんだろうと気をもんでいました。

職務柄、特に公務が詰まる時期で休日にもなかなか球場に足を運ぶことができない身ですが、今年は能代球場での母校角館高校と本荘高校の試合が日曜日で公務が入っていない日だったので、久々に母校の試合を観戦できました。

結果、由利本荘市の方には申し訳ありませんでしたが、母校の勝利、その日の晩酌は最高でした。

そして、運命の金足農業戦、延長13回本大会初のタイブレーク適用での勝利、母校と金農との皮肉な対戦、金農の選手は昨年の先輩方の活躍というプレッシャーを背負ってのプレー、母校への声援とともに金農ナインにも心の中で声援を贈りました。

そして、秋田中央と明桜との決勝戦、これも延長11回秋田中央の劇的なサヨナラ勝ち、明桜は2年連続の決勝敗退、さぞかし悔しかったでしょう。

秋田中央高校ナインは、県内各校球児の思いを抱いて堂々と全力プレーを！